

令和5年 富山県ツキノワグマ出没警報(第1報)

本日、午前11時20分頃、富山市下夕林地内において、男性(71歳)が河川で釣りをしていたところ、ツキノワグマと遭遇し、左前腕を噛まれ、左肩を引っかかれる怪我(全治1か月)を負う被害が発生しました。このため富山市、捕獲隊、警察にて現地周辺のパトロールを実施し、周辺住民に注意喚起を行いました。

秋は冬眠を目前にしたクマが、食べ物を求めて一年の中で最も活発に活動します。引き続き、市街地においても本日のような不意の遭遇による被害が起きる可能性が高いと考えられます。

人身被害の防止のため、下記の事項に十分注意し警戒をお願いします。

記

- 1 山里の集落に隣接するやぶや、山間部を流れる河川敷などの草むらの刈り払いを、地域ぐるみで協力して進めてください。

クマは、やぶや河川敷の草むらに隠れて移動し、集落周辺に出没しますので、移動ルートを分断して集落に近寄せないようにしましょう。出没の際も発見しやすくなります。

- 2 自宅やその周辺では、利用する予定の無い果樹は早めに実を取り除き、又は木を伐採する、生ゴミを処分するなどしてクマの誘引物を除去してください。

誘引物がある限り、クマは何度も繰り返し接近しますので、餌場と思いつまませないように早期に対策を実施しましょう。

地区や町内会、鳥獣害対策協議会など地域ぐるみで取り組むと、広い範囲で誘引物を無くすことができるので非常に効果があります。是非、実行してください。

- 3 集落に接近したクマの家屋侵入を防ぐため、住宅・車庫・倉庫等の戸締まりを徹底してください。

- 4 県内の山はクマの生息地です。

県内の山はすべてクマの生息域です。秋季は、冬眠を目前にしたクマが、カキやクリなどを求めて山里から平野部に出没する可能性が高くなると予想されます。

- 5 随時、クマの出没箇所を確認し、危険な場所には近づかない。

足跡や爪跡、糞を発見した場合は、付近に潜んでいる可能性がありますので、注意してください。また、県ホームページで公表しているクマの出没情報地図「クマっふ」などを活用し、その地域のクマの出没状況を確認してください。

<https://www.pref.toyama.jp/1709/kurashi/kankyoushizen/shizen/yaseiseibutsu/kumap.html>

- 6 クマは朝夕に活発に活動しますので、山里の集落では、その時間帯の外出や農作業等はなるべく控えてください。

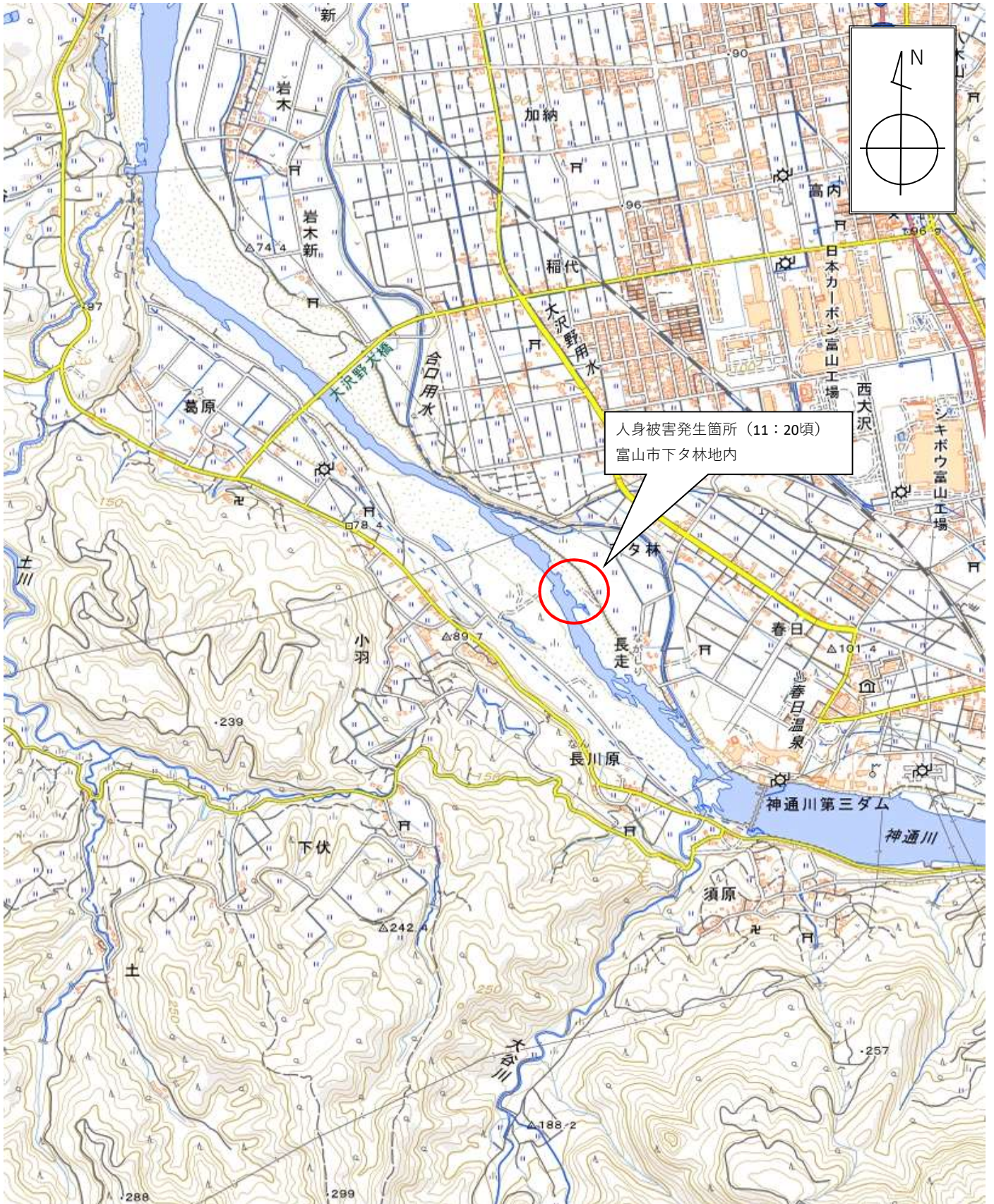
農作業中は作業に没頭しがちなため、被害を受ける例も多いので、鈴やラジオを利用して自分の存在を示し、適宜周囲の状況に注意を払ってください。また休憩は自動車や家屋などの中にとるなどしてください。

クマに関する相談、情報提供先

富山県自然保護課

TEL 076-444-3397

位置図



秋のクマに注意！

秋季は、冬眠を目前にしたクマが、食べ物を求めて一年の中で最も活発に行動します。餌となるドングリ類のほかに、カキやクリなどを求めて山里から平野部に出没する可能性が高くなると予想されますので、厳重な注意が必要です。

県内の山はすべてクマの生息域ですので、仕事や趣味で山に入られる方はもちろんのこと、普段クマを見かけない地域においても、クマの被害に遭わないために、以下のことに気をつけて下さい。

山際～平野部では、引き寄せない、出遭わない対策を実施しましょう！！

◇カキなどの果実を適切に収穫し、利用する予定のないものは早めに取り除く。

(カキの実などは、放置しておくとうまく呼び寄せられることがあるので、適切に収穫しましょう。利用する予定のない果樹は実を取り除き、又は木を伐採しましょう。)

◇未収穫の野菜や、生ゴミを適切に処分する。

(畑の未収穫野菜の回収や家庭での生ゴミの管理徹底など、クマの餌となるようなものを自宅や畑の周りに置かないようにしましょう。)

◇朝夕の不要不急の外出や農作業等を控える。

(農作業はなるべく複数で行い、朝夕の時間帯は避けてください。外出の際は、自宅近くや玄関先であっても、鈴やラジオなどで音を出すようにしましょう。)

山では、出遭わない対策を実施しましょう！！ (県内すべての山にクマは生息！！)

◇クマの出没状況を確認し、危険な場所には近づかない。

(糞や足跡、爪跡など痕跡を発見したら、注意して引き返しましょう。)

◇朝夕は山中に入らない。日中も自分の存在を知らせるために、鈴やラジオで音を出すようにしてください。

(クマは朝夕に活発に動きますが、日中も注意と対策が必要です。ヘルメットの着用やクマ撃退スプレーも効果的です。)

◇子グマを見たらそっと立ち去る。

(近くには必ず母グマがいます。子グマがかわいいからと近づくと、母グマは子グマの危険を感じて人を攻撃することがあります。)

◇キノコ採りはほどほどに。

(クマの生息域ですので、夢中になりすぎず、常に周囲の状況確認をしましょう。)

不測の事態に備えて！！

注意をしてもクマと近距離で出遭う場合があります。万が一襲われそうになった場合は、持っているカバンなどで頭部や頸部を守ると、被害を軽減することができます。

◆クマを目撃した場合やクマの痕跡を見つけた場合は、直ちに市町村に連絡してください。

◆クマに出遭った場合の対処方法などについて、富山県ホームページで詳しくご紹介しています。

ツキノワグマによる人身被害を防止するために

